

第5回日独通訳者養成セミナー（日程：2016年2月13日～15日、場所：Heinrich-Pesch-Haus in Ludwigshafen）
2月13日（土）14:30-18:00 第一セッション（担当：細川ノーマン先生）
„Interview mit Daimler-Chef Dieter Zetsche“（独→日）

記録：植澤早夏

【セッションの進め方】

参加者は約3名ずつグループを組む。設定は以下の通り：「ドイツ人ジャーナリストによるツェツェ氏のドイツ語でのインタビューを日本人ジャーナリストが取材しに来ており、我々が独日逐次通訳をする。インタビューの時間は限られている為、質問事項は予め提示されている。（参加者にも質問事項は事前にメールで配布されていた。）」ドイツ語で質問をするインタビュアー役を四戸陽子先生が、ツェツェ氏役を細川先生が演じ、参加者は発言が途切れたところまでを随時日本語に訳出する。訳出後1分ほどグループ内で協議する時間はあったが、基本的には最後までノンストップで進行する。この間、相澤啓一先生が任意のグループを訪ね、訳者の声をボイスレコーダーで録音。インタビュー記事を最後まで読み上げたところで終了し、録音を全員で聞きながらフィードバックを行った。（フィードバックは時間の関係で記事の途中までしか出来なかった。）

記事のリンク：<http://www.welt.de/wirtschaft/article151516504/Was-Daimler-sich-bei-Latina-Koechinnen-abguckt.html>

※セッションでは表現を意図的に変えている部分がある。

はじめに、関川富士子先生が自己紹介で挙げられていた三つの心得を再確認する。

【通訳の三つの心得】

- (1) プロの通訳者として、その場に居るという自覚と責任を持つ
- (2) 「なぜ通訳をするのか」を肝に銘じる→メッセージを伝えたい話し手と、理解したい聞き手のコミュニケーションを仲介するために通訳をする→「話し手の伝えたいメッセージをしっかりとキャッチする」とこと、「聞き手に分かりやすいように伝える」ことが重要
- (3) 生涯学習を続ける姿勢を忘れないようにする

（以下、細川先生に頂いた原稿を引用します。WE=Welt am Sonntag の記者、DZ=ツェツェ氏）

WE: Herr Zetsche, Sie haben im vergangenen Jahr 1.990.909 (1.787.678) Mercedes und Smarts verkauft und sind an [BmW und Audi vorbeigezogen. Was sagen Sie nun Ihren Kritikern, die Sie noch vor 2 (3) Jahren in Grund und Boden geschrieben haben?

DZ: Ich stelle mich jetzt nicht hin und erkläre: Seht ihr, geht doch. Aber natürlich haben wir damals gewusst, welche Fahrzeuge wir in der Pipeline haben und dass uns das enormen Schub geben wird. Allerdings lasse ich mich jetzt auch nicht von Lobpreisungen irritieren. Man sollte nicht glauben, dass die Bäume in den Himmel wachsen.

・「えー」と言い過ぎないように気をつける。

・ „welche Fahrzeuge wir in der Pipeline haben“ : 「どんな新しいモデルを今後出すか」。市場にはまだ投入していないが、生産計画に入っているという意味。「生産か開発か」という対比構造においては「開発中」と言ってもよいかも知れないが、「開発」と言うとは何か新しいもの（新技術）の創造をイメージさせるため、「どんなモデルを今後出すか」程度の曖昧な表現が無難との意見も。

・ „enormen Schub geben“ : 景気づけとなる、売り上げの追い風となる、業績を押し上げる、加速させる、弾みをつける、飛躍的な成長をもたらす

・ „damals“は「そのとき」より「その時点」や「当時」と言った方が良い。

・ „die Bäume in den Himmel wachsen“ : いつまでも勢いが続く（cf.: Die Bäume wachsen nicht in den Himmel : [慣用句] 成功（成長）には限界がある）

・ 話者の語調や性格を通訳が勝手に矯正してはいけない。例えばここで „wir“ を「弊社」と訳するのは間違いではないが、それでは実際の性格より謙虚な印象を与えてしまう。→「ダイムラーは」と言ってしまうてよいのでは？

・ よくある間違い：社名、ブランド名、セグメント、車種、クラスを混同しないこと。（ちなみに記者自身も「ダイムラー」と「メルセデス」は明確には使い分けていない）

社名（メーカー名）：Daimler、VW 等

ブランド名：ベンツ、スマート、シュコダ、Audi、VW 等

以下、セッション中にもセグメント・クラス・車種等の用法については混乱が生じていたが、調べてみると実際に国際的に統一された分類基準があまり無く、特にセグメント、クラス、カテゴリは文脈によっては混同する可能性が高そうである。社名とブランド名については気をつけた方が良いが（とはいえこの点についても「聞き手が分かりやすい（聞き手が普段使っている）名称を用いるのが得策」「ケースバイケースで最適な訳を選ぶべき」との指摘があった）、その他については和訳する場合は、そのままカタカナ語で訳すのが無難かもしれない。以下に例を挙げる：

Firma/会社	Marke/ブランド	Segment/セグメント	Klasse/クラス	Modell/車種 Wagentyp/車種	Kategorie/カテゴリ
ダイムラー	ベンツ（ドイツ語では „Mercedes” 日本語では「ベンツ」が無難）	例：EクラスはセグメントE（エグゼクティブカー）等 分類する機関（と分類基準）によってセグメントの内容は異なる。	注：Fahrzeugklasse（Klasse Aがミニカー等）はセグメントとほぼ同義で使われる。下記リンク参照。 その他、ベンツのEクラス、CLAクラス等の分類もある。（更に免許証でもクラス分けがある...。）	PKW/普通乗用車、その他「クーペ」、「プリウス」等も「車種」らしい。「車種」に含まれる表現は幅広い印象。	セダン、クーペ、SUV等は「カテゴリ」と表現される事も。PKWとLKWの違いも「カテゴリ」で分類することが出来る。
	スマート	セグメントA（スモールカー）、セグメントMini	参考： https://de.wikipedia.org/wiki/Fahrzeugklasse	Kleinwagen/小型乗用車	車種とカテゴリの境界は曖昧で、文脈によって使い分けられることが出来る。
フォルクスワーゲン	シュコダ	参考： https://de.wikipedia.org/wiki/Fahrzeugsegment_(Kraftfahrt-Bundesamt) https://de.wikipedia.org/wiki/Fahrzeugsegment_(Europ%C3%A4ische_Kommission)		例：シュコダ・オクタビア/小型乗用車（Cセグメント）	
	アウディ			例：アウディ・A8/高級乗用車（Fセグメント）	
	フォルクスワーゲン			例：フォルクスワーゲン・ゴルフ/ハッチバック型乗用車（Cセグメント）	
富士重工業	スバル			例：スバル・レガシィ	

WE: Diese Skepsis war auch auf der Detroit Motorshow zu spüren. Warum eigentlich? Die Autobranche steuert doch auf neue Absatzrekorde zu.

DZ: Die Perspektiven für die Automobilindustrie sind gut. Besonders für Mercedes, weil wir alles haben, um weiter wachsen zu können.

- „die Perspektiven sind gut.“：見通しが明るい（「見通しが良い」は別の意味になるので注意）

WE: Wenn da das Dieselproblem von VW nicht wäre.

- „Wenn wäre“：ここでは「...さえ無かったら、ですよね？」（VWの不祥事が水を差すのですよね？）というような意味。

DZ: Für Volkswagen ist das ohne Zweifel das dominierende Thema, gerade in Amerika. Aber man sollte das im richtigen Verhältnis sehen: Der Diesel ist in den USA (und Japan) ein Nischenprodukt. Bei Mercedes zum Beispiel haben weniger als fünf Prozent der in den Vereinigten Staaten verkauften Autos einen Dieselmotor. Für uns ist die Relevanz dieser Antriebsart in Nordamerika also überschaubar.

- „man sollte das im richtigen Verhältnis sehen“：適切な文脈で物事を判断しないとイケない。バランスを失っている。相対的に見る必要がある。（頭に毛が三本だと「少ない」が、スープに毛が三本だと「多い」というように、「三本」が絶対的に少ないとは言えない。→ある数値が多いか少ないかは相対的に見る必要がある。）

• „Verhältnis“をうっかり「相関関係」と訳してしまうと別の意味になるので注意。相関関係 (die Korrelation)、相関関係にある (mit et3 korrelieren) =比例する、A と B が関数的な関係にある (反比例のことを「負の相関」とも言うので、相関=正比例あるいは「Aが増えるとBも増える」という関係であると理解されることが多い)。

• „Der Diesel ist in den USA (und Japan) ein Nischenprodukt.“ („Japan“は原文には無いが即興で追加された) : 日本のジャーナリストが居る場で話者がわざわざ「アメリカと日本では」と発言した→「話者が発信したい情報」である、と同時に聞き手にとっても「興味深い情報」である。→ (たとえ情報が大筋に関係なくても)、両者の関心の対象であれば訳すべき。(上記【心得】(2)参照)

WE: Dennoch mühen sich die deutschen Automobilhersteller, den US-Kunden den Diesel schmackhaft zu machen. Kann man diese Anstrengungen nun aufgrund der VW-Affäre einstellen?

• „etwas schmackhaft machen“ : ...を売り込もうとする

• „Kann man diese Anstrengungen [...] einstellen?“ : 「やめちゃってもいいんじゃないんですか」「努力しても仕方ないんじゃないんですか」というようなニュアンス。

DZ: Daimler hat dazu klar Stellung bezogen: Bei uns wird nicht betrogen, bei uns wurden keine Abgaswerte manipuliert. Die Botschaft kommt an: Es gibt als Folge von ‚Dieselgate‘ keinen Absatzrückgang bei unseren Diesel-Fahrzeugen in den USA. Was uns stärker beschäftigt, sind die niedrigen Treibstoffpreise. Denn der Diesel punktet ja gegenüber dem Benziner vor allem mit seinem sparsameren Verbrauch.

• „Dieselgate“ : ディーゼル不正問題、ディーゼルゲート。ウォーターゲート事件にちなんで、世間を賑わす大事件を「ooゲート (スキヤンダル) 」と言うことが多い。乗っ取り事件を「~ジャック (ハイジャック、シージャック、バスジャック等) 」と言うのに似ているという指摘も。

• „Die Botschaft kommt an“ : 直訳すると「メッセージは (消費者にも) 伝わっている」だが、この文脈では「効果は出ている」と言い換えても良いかもしれない。

• ツェッチェ氏の発言の趣旨 : ディーゼル車はそもそも燃費が良い。しかし燃料価格 (ガソリンだけでなくディーゼルオイルも安くなっているが、ここでは主にガソリン価格) が下がった結果、ガソリン車でも安く走ることが可能になった。ガソリン車でも安く走れるのであれば、燃費が魅力のディーゼル車にメリットは無い。すなわちディーゼル市場にとっては、VW 不正問題よりも燃料価格の下落の方が痛手である。

• „Treibstoffpreise“ : は文脈的には「ガソリン価格」と言ってしまうても支障は無い (むしろ聞き手の理解の助けになる)。しかし話者がわざわざ Benzin と言わず、Treibstoff と言っているのに、通訳がガソリンに限定してしまっている点で意見が分かれる。

WE: Also dürfte mittelfristig die Kombination von Billigsprit und den Nachwehen der Abgasaffäre den Diesellabsatz von Mercedes in Amerika schrumpfen lassen?

• この質問の趣旨 : 燃料価格の低下と VW 問題のダブルパンチでアメリカ市場のディーゼル車販売台数はじわじわ落ちていくのでは?

• 「記者の質問の仕方がいやらしい」と盛り上がる。記者の関心がどこにあるのか四戸先生と細川先生が解説 : ①VW ディーゼル問題について、ライバル企業社長のコメントが欲しい (一般読者の興味=情報の価値が高い)。②景気が上がるか下がるかの情報が欲しい (株主の関心/株式市場への影響大=情報の価値が高い)。

DZ: Das glaube ich nicht. In Europa machen Autos mit Dieselmotoren einen entscheidenden Anteil unserer Produktion aus, in den USA ist er wie gesagt gering, aber stabil. Und das wird sicher so bleiben.

• 実際に通訳をする際には「照れ隠し」の笑いはNG、との意見が出た。

WE: Sie haben erklärt, dass ein Skandal wie ‚Dieselgate‘ bei Mercedes nicht möglich wäre. Warum eigentlich?

• 「ダイムラーでは起こらないと言いましたがなぜですか?」との訳に、「主語が無いので分かりにくい」とのコメントがあった。

DZ: Mit absoluten Aussagen sollte man immer vorsichtig sein, aber bei einem bin ich mir sicher: Wir haben in unserem Unternehmen Compliance-Regeln und eine Kultur der Integrität, die es unwahrscheinlich machen, dass es bei Daimler etwas Vergleichbares geben könnte.

・ダイムラー（企業）のことを「ベンツ」と訳してしまってよいかどうか。「企業名とブランド名は別物なので、話者が『ダイムラー』と言ったら、『ダイムラー』と訳すほうが良い」という意見と、「聞き手が聞き慣れている言葉を使うのが良い」という意見があった。

・あるいは、意図的に聞き手の慣習に合わせた言葉を選択している場合は適宜説明を加えるべきか？（例えばドイツ語の „Mercedes“ を日本語で「ベンツ」と訳す場合に、「わざとそのように言い換えている」と注釈を加えるべきか？）

・「インテグリティ」の訳し方に見る、「不明瞭だが重要（当事者には思い入れの強い）な外来語を訳す場合の問題」について：基本的にはそのまま「インテグリティ」と言うのが無難だが、形容詞（integrer）など形を変えて出てきた場合にどう訳すか？→「『インテグリティ』を応用して、『インテグリティを遵守している』等と訳す」、という回答があった。

「インテグリティ」には「安全/確実であること、誠実であること、完全性（飛行機の例で損傷がないこと）、整合性（例えばデータの）、無矛盾性、システムの統合性（IT）、信頼性があること、完璧であること、言動に一貫性があること、社員一人ひとりに社則を超えた常識（モラル）があること、品行方正で清く正しいこと、企業としての清廉潔白性があること」...などの意味があるが、（過去に痛手を負った）ダイムラー社が（それを乗り越える精神としての）「インテグリティ」に込めた重みも含めてその内容をうまく表す日本語は無い。→したがって、「インテグリティ」はそのまま訳すべきである。しかし、意味は説明できるようにしておくこと。

（他の例で、「アジリティ」など一般化していない言葉が出てきた場合は、分かりやすく訳すべきか？という問いかけもあった。）

・ここでは、「枠組みとしてのコンプライアンスルール」と、「内面性としてのインテグリティ」の両方から守りを固めている、というメッセージも把握しておくが良い。

・「絶対に“とは言えませんが」と前置きしておきながら、最後に「...というようなことは絶対に“ありません」と言ってしまい、訳文の言い回しに矛盾があった。

WE: Als gebranntes Kind hat Daimler inzwischen ein vorbildliches Compliance-System, aber lähmt es nicht auch, weil es an vielen Stellen die Entwicklung blockiert?

・ „gebranntes Kind“ : 「痛い目に会った（当事者）」。過去に着服事件があり専用の役員ポストを設けたとのこと。ちなみに今回 VW の「特別大使」に起用された元 FBI 長官は過去にダイムラーの商取引をめぐる贈賄事件で米当局との仲介を担い、制裁金の支払いにより和解に導いた実績があるそう (<http://mainichi.jp/articles/20160120/k00/00m/020/041000c>) 。

・ „die Entwicklung blockieren“ : 「成長を妨げる」だが、「色々なところで障害がでる」と分かりやすい日本語に変えたのは良かった。

DZ: Wir sehen doch im Fall von Volkswagen, wie groß der Imageschaden sein kann, wenn es derart umfassende Regeln nicht gibt. Es existiert schlicht keine Alternative zu einem strikten Compliance-Regelwerk. Natürlich darf das nicht in Bürokratie oder Überregulierung münden. Dass Compliance-Regeln das Geschäft nicht lähmen, zeigen doch unsere Zahlen.

・ „Imageschaden“ : イメージダウン („Schaden“の訳として「ダメージ」にこだわってしまった結果「イメージのダメージ」というような不自然な訳になってしまっていた)

・ „Bürokratie“を「ルールを作り過ぎない」、 „Überregulierung“を「行き過ぎた規制」というように分かりやすい日本語にしたのは良かった。

WE: Ist es wirklich unbedenklich, dass man, wie zum Beispiel Mercedes, nach Korruptionsfällen jahrelang einen ehemaligen FBI-Chef als Aufpasser vorgesetzt bekommt?

・この部分は、元 FBI 長官が Aufpasser（お目付け役、監視役）になること（具体的には定期的にレポートを提出し審査を受けること）の「弊害」をどう解釈するかで意見が分かれた。①記者は「監視されることで企業の成長が妨げられる（経営の自由が損なわれる）のではないかと」言いたい、とする意見。②記者は「米国当局の人間がダイムラーに関わることで、ダイムラーの業績を抑え米国企業（産業）に有利に働くよう操作される危険性がある（政治的に抑制される）のではないかと」言いたい、とする意見。

DZ: Die Versuchung ist groß, diesem Thema eine industriepolitische Dimension zu geben. Da schießen schnell Verschwörungstheorien ins Kraut. Aber mal ehrlich: Ich denke, die strikte Vorgehensweise der Amerikaner nach Korruptionsfällen, die es bei uns zweifellos gegeben hat, sollte uns als Beispiel dienen. Das ist wie bei den Zuständen im Weltfußballverband Fifa, wie in der Blatter-Affaire. Die Amerikaner haben den Fußball nicht erfunden, aber sie haben ein korruptes System beendet und tragen maßgeblich dazu bei, es zu reformieren.

・ツェッチェ氏の回答から、上記については②の解釈に近いのではないかと、という意見に落ち着いた。

・„Verschwörungstheorien schießen ins Kraut.“ : 「政治的な意図があると思われやすい。」 「陰謀論だ (アメリカが自国の自動車産業を伸ばすために、産業政策の一環として意図的に元 FBI 長官をお目付け役に据えた) という人もいる」

・„diesem Thema eine industriepolitische Dimension geben“ : 上記①の解釈に則った場合「産業全体にそのような性質があるととらえる」、②の場合「産業政策の一環として/政治的規模で解釈する」

・ツェッチェ氏は、記者のうがった質問に対して「アメリカの厳格なやり方は良い」と主張している。→両者のスタンスをここで再確認: 「記者がいやらしい質問で終始さぐりを入れているのに、ツェッチェ氏は一貫してはねのけている」。

WE: Was die Zustände hierzulande beim Diesel angeht, ist inzwischen auch das Kraftfahrt-Bundesamt aktiv geworden und untersucht den Abgasausstoß von 50 Autos verschiedener Hersteller. Dabei wurden erhöhte auffällige Werte gemessen. Wie haben Mercedes und Smart abgeschnitten?

DZ: Die Vertreter des KBA waren zwei Tage bei uns und es wurden (22...23...XX) Autos getestet. Dabei sind nach meiner Kenntnis keine auffälligen Abgaswerte gemessen worden.

・ここで細川先生はテストした車の台数を不明瞭に発音。→話者が言い間違えた場合や、通訳が話者の発言を聞き取れなかった場合にどう対処するかが試された。→特に利益に関する数字 (利益率等) は重要性が高い。その場で確認できる状況であれば、確認する。出来なければ、後で確認すること。

WE: Aber durch immer neue Vorwürfe steht inzwischen die gesamte Autoindustrie unter Generalverdacht. Was halten Sie von der Idee Opels, zwei Abgaswerte auszuweisen: den der Prüfstände und einen nach Fahrten im Straßenverkehr?

・„Idee“を「アイデア」ではなく、ここでは「提案」と訳したのは日本語として自然で良かった。

・「思い込み」の落とし穴: 記者の具体的な質問「試験台の数値と道路 (実走行) の検査値を計測することについてどう思うか?」に対し、次で回答が得られると思いついてしまうと、実際はすぐに明確な回答は出てこないのに注意。(最後まで聞くと、条件付きではあるがきちんと質問に対する意見を述べていることが分かる。)

DZ: Jetzt die Werte, die auf Prüfständen ermittelt werden, generell infrage zu stellen und zu verteuflern, ist keine Lösung. Es stimmt, dass Messungen auf Rollenprüfständen nur einen Ausschnitt dessen abbilden, was man mit einem Auto alles anstellen kann. Das Szenario, zum Beispiel mit einem Pkw samt Anhänger im ersten Gang eine Bergstraße hochzufahren, kommt dabei nicht vor – um mal etwas zu übertreiben. Dass bei einer solchen Fahrt andere Abgaswerte entstehen als auf einem Prüfstand ist Physik, nicht Betrug. Ich will damit sagen, dass Tests nie die gesamte Wirklichkeit abbilden können. Richtig ist allerdings, dass wir bei Messungen künftig auch Situationen berücksichtigen sollten, in denen ein Auto extremer als bei den bisherigen Vorgaben beansprucht wird. Aber die Einführung einer solchen Prüfmethode ist ja schon beschlossen.

・„die Werte infrage stellen“ : 数値そのものを疑ってかかる

・„verteuflern“ : 原因をそこに決め付ける、それ自体に信憑性がないと決め込む (=試験台の数値だからと言って信憑性を疑う)、(試験台はどうせ実走行とは違うと決め付け) 試験台/検査台の評価そのものに意味が無いように思い込む。

・„... ist Physik, nicht Betrug.“ : 物理的に当然の結果であって、ごまかしではない (=試験台を使ったからといってごまかしていることにはならない) 。

・„nur einen Ausschnitt dessen abbilden“ : (実際に測定し得る数値の) 一部しか反映していない

„Tests können nie die gesamte Wirklichkeit abbilden.“ : テストで全て計測することは無理

・„Richtig ist allerdings, ...“ : 「とは言っても、...はした方が良いでしょう」

WE: Allerdings erst für 2017, mindestens bis dahin bleibt wohl das Misstrauen der Kunden. Nun sagen Sie schon. Was halten Sie von dem Opel-Vorschlag?

DZ: Ich finde es überzeugender, dass Mercedes schon vor mehreren Jahren Autos auf den Markt gebracht hat, die den strengen Abgasnormen nach Euro6 entsprechen, also zu einer Zeit, als Euro6 (5) noch nicht gesetzlich vorgeschrieben war.

・EURO6 (ユーロシックス)、EURO5 (ユーロファイブ) : EUで施行する排出ガス規制制度。2015年1月1日以降、EUで販売される新車はEURO6の規制値をクリアしては販売できない。

・ここで細川先生は、„als Euro6 noch nicht gesetzlich vorgeschrieben war (ユーロ 6 がまだ法的に義務付けられていなかった頃に) “の„Euro6“の部分をわざと„Euro5“と読み上げていた。→基本的には話者が話した通りに訳すべき。(実際にはユーロ 5 すら義務化されていない頃にユーロ 6 適合車を販売するのはおかしい。話者の間違いによほど確信がある場合は「要確認」とし、通訳終了後に自分で確認するか、通訳をした相手に「事実とは違うかも知れないので確認をお願いします」と注意を促しておく。)

セッションは以上で時間切れとなり終了。

【記録系の所感】

以上、フィードバックの際に挙げられたコメントを羅列したにすぎないが、大きく分けて以下に分類されるようだ。

- ①姿勢・心構えに関すること(例:「笑わない、『えー』と言い過ぎない」「聞き手に分かりやすい言葉を使う」) ②よくある誤解・うっかりミス(例:「会社名とブランド名を混同しない」「相関関係と相対的は別の概念」「『絶対』は言えないが、[...]は絶対ない』は自己矛盾」) ③通訳が直面しがちな問題(例:「不明瞭(一般には浸透していない)だが重要な外来語(インテグリティ等)の訳し方」「聞き取れない言葉や論理的におかしい発言があった場合の対処」) ④読解・解釈の問題(例:„etwas in der Pipeline haben“などの慣用表現の他、„Wenn...wäre?“/„Kann man diese Anstrengungen einstellen?“/„Richtig ist allerdings...“など、微妙なニュアンスの訳出が問われる表現等) ⑤背景知識に関すること(例:ガソリン車に対するディーゼル車の利点、スキャンダルを「〜ゲート」と表現すること、一般的に記者が聞きだしたい情報・関心事、ダイムラーの過去の事件とその後の方針、米国における産業政策・当局・外国企業の図式と利害関係、排出ガス規制制度の一般的な知識)


①～⑤はいずれも性格は違うものの、思考を阻害する要因になり得る。その点、ベテラン通訳者や先生方は思考の風通しが良いためか、余裕を持って、大局的に流れをつかむことが出来ている印象を受けた。「この記者はいやみである」「こちらに誘導しようとしている」といった指摘は、ある程度対象物に距離を置いて観察できているがゆえのコメントであると思う。また、ベテラン通訳者は概して展開を先読みできていたが、上記のような適度な距離感(余裕)があると、予想外の展開になった場合にも柔軟に対応しやすいという印象を受けた。

上述の5点については「背景知識があると、微妙なニュアンスも上手く訳せるようになる」「よくある間違いを自覚していると、聞き手に分かりやすい表現を選択できる」等、相乗効果が期待できる(相関関係にある?)ように思う。あきらめずに少しずつ弱点強化に努めたい。

当セッションのみならず、合宿全体を通じて、「通訳力」を高めるには、単語を覚えるだけではなく総合的な知識と表現力が必要であることを確認できた。また、通訳ならではの「落とし穴」は、独学では気づきにくい。そうした気づきをもたらしてくれるという意味でも、有意義な機会であった。

【用語集】

DE	JP	備考
Dieseltgate	ディーゼルゲート、VW のディーゼル排出ガス不正事件、排ガス不正問題	ウォーターゲート事件とかけている
an j3 vorbeiziehen	...を追い越す	
et4 in Grund und Boden schreiben	...の悪評の記事を書く	
welche Fahrzeuge wir in der Pipeline haben	どんな新しいモデルを今後出すか	
enormen Schub geben	景気づけ/追い風となる、業績を押し上げる、加速させる、弾みをつける	
die Bäume in den Himmel wachsen	いつまでも勢いが続く	[慣用句] Die Bäume wachsen nicht in den Himmel : 成功(成長)には限界がある
die Perspektiven sind gut	見通しが明るい	「見通しが良い」は別の意味になるので注意
Wenn wäre.	仮に...が無ければ。	ここでは「...さえ無かったら、ですよね?」(VW の不祥事が水を差すのですよね?) というような意味。
et4 im richtigen Verhältnis sehen	...を相対的に見る必要がある	×相関関係 (die Korrelation; mit et3 korrelieren) = 比例する、何かと何かが関数的な関係にある

et4 schmackhaft machen	...を売り込もうとする	
Nachwehen (pl)	余波、(悪)影響	本来の意味は「後陣痛」(産後の子宮収縮による痛み)
Integrität	インテグリティ	清廉潔白であること、言動に一貫性があること、社員一人ひとりに社則を超えた常識(モラル)があること等
gebranntes Kind	痛い目に会った(当事者)	ダイムラーにも過去に不正問題があったらしい。
Aufpasser	監視役、お目付け役	
Industriepolitik	産業政策	
Verschwörungstheorien schießen ins Kraut.	政治的な意図があると思われやすい。陰謀論という人が出てくる。	ここでは「アメリカが自国の自動車産業を伸ばすために、産業政策の一環として意図的に元 FBI 長官をお目付け役に据えた」という噂が広がる、という意味。
Kraftfahrt-Bundesamt, KBA, das	連邦自動車庁	
Werte von Prüfständen	試験台(試験時)の値	
Deutsche Umwelthilfe	ドイツ環境支援協会	
C-Klasse Diesel	Cクラスディーゼル	メルセデス・ベンツ Cクラスに加わったクリーンディーゼル搭載モデル
Stickoxide (pl)	Nox、窒素酸化物	
Abgaswert nach Fahrten im Straßenverkehr	道路を走行した後の排ガス値、排ガス量、CO2 排出量	
et4 verteufeln	...を悪者に仕立てる(悪いと決め付ける)	
Rollenprüfstand	ダイナモメーター	路面の代わりにダイナモメーターを連結したローラーに駆動輪を載せて実車走行試験を行う装置のこと。
Anhänger	トレーラー	
im ersten Gang fahren	1速のまま走る	
Euro6	ユーロシックス	EUの排ガス規制制度。2015年以降販売の新車はこれに適合している必要がある。
sogenannte Light Trucks	いわゆるライトトラック	ライトトラックにはバン(ライトバン)、ピックアップ、SUVが含まれる。
SUV, der; SUVs (pl)	SUV	スポーツ・ユーティリティ・ビークル(英: Sport Utility Vehicle)、「スポーツ用多目的車」。通常はSUVと略す。 
Pick-up, der; Pick-ups (pl)	ピックアップ	ピックアップトラック(Pickup truck)は、米国での自動車の分類のひとつで、大型以外のトラックの総称。 
Mini-Van, der; Mini-Vans (pl)	ミニバン	
im Bereich Passenger Cars	一般的な乗用車	ベンツには「パッセンジャーカー」というカテゴリがある。
Limousine, die	セダン	この文脈においては「一般の乗用車」と同義と思われる。